

こんにちは！  
こちらニュージーランドでは約2カ月の長い夏休みが終わり、学校に向かう子ども達を見かけるようになりまし  
た。今回は私の経験した嬉しい出来事をご紹介します。

先日スーパーマーケットに行った時の事です。混む  
前の朝早い時間帯に1歳の息子を連れていつものスー  
パーマーケットに行きました。こちらでは一週間に一度  
スーパーマーケットに行き、必要なものをどっさり買い  
込むのが主流です。私も同様、一週間分の食材を買い  
込み、息子を片手に抱え、もう一方の手で買い物カ  
ートを押していました。

支払いを終えて車に向かってしていると、年配の女性  
が近寄って来られました。「買い物カートを車まで押し  
ましょか？」と声をかけくださったのです。優しさに甘え、  
一緒に車まで行きお礼を言っていると「子どもを先に乗  
せておいで。」「私が買い物カートを元の場所に戻すか  
ら買い物の荷物を車に積むといいよ」

荷物を車に移す間、待っていてくださいました。「子  
どもと一緒にだと大変なこともあるよね。」と笑顔で話す女  
性の優しく親切な言葉と行動に心が温まりました。

コロナウイルスの影響もあり生活の変化などで心の  
余裕が無くなりがちですが、このような状況だからこそ  
お互いへの小さな親切が大きき力になると思った出来  
事でした。

それではまた来月。See you!

ブース千尋

「レコード見聞録」～前編～

「山根さんは、どこでこれだけのレコードを集められましたか？」と時々、聞かれる事があり  
ます。いつも私は「この足で探しています」と答えています。基本的には骨董市へ足を運びま  
す。この近辺では長府の忌宮神社や山口県庁前で早朝より開催される骨董市へ足を運びま  
す。私が収集を始めた約20年前は、まだまだ良い時代でした。田舎へ行けば蔵がある家  
が多く残り、骨董がたくさん出て来ていました。骨董市でもレコードがレコードケースに入って  
何個も店先に並べられ売られていました。レコードケースには2、30枚のレコードが詰まっ  
ています。まず骨董市へ行くとレコードケースを探して歩き、見つけると中を見せてもらいます。  
レコードと言っても「歌謡曲」だけではなく、「浪花節」や「端唄」「小唄」などありますが、やはり  
収集家の一番人気は「歌謡曲」です。私の専門も「歌謡曲」でライバルが多いくるわけです。  
遅い時間に骨董市へ行くと、ライバルに先を越され何度、悔しい思いをしたかわかりません。  
勿論、こちらが先手を打った事もあります。ケースの中に何枚か欲しいレコードを見つけたら、  
ここからが骨董屋の店主との値段交渉という駆け引きが待っているのです。

ミントの家 山根 徹

昭和レトロコンサート

時代を彩った戦前・戦後のヒット曲の数々をお楽しみ下さい  
なつかしの歌声 銀幕は歌う

日時 二月二日(ケアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分～十五時  
二月二十三日(シニアハウス王喜の郷・食堂) 十三時三十分～十五時

懐かしいあの日、あの時の思い出が鮮やかによみがえるコンサートをお楽しみください  
【会費】 三〇〇円(お茶代・資料代)  
【お問い合わせ】山根(ミント) 中村(ケアハウス)



# たんぽぽ通信

2月1日発行 180号  
ケアハウス王喜の郷 令和4年2月号

ホームページ <http://www.ryokujyukai.jp>

2月4日の立春は暦の上ですが、ケアハウスの蜂達は1月22日に活躍を始めました。1月は冬と思  
い込みましたが、多くの春への営みを自然界が始めていることに気が付きました。いよいよ3回目  
のコロナワクチン接種を2月10日(木)、同24日(木)に予定しています。3回目を打つと免疫力が大変  
増すそうで、行動の幅が広がるかもしれません。

さて1月の昼食ビュッフェはいかがでしたか。「うどん」のトッピング(のせるもの)がテーマでした。肉う  
どん、きつねうどん、てんぷらうどんでしたが、大変好評でトップは肉うどんでした。2月は3日の恵方巻  
にひっかけて海苔巻き・いなりの助六ランチを予定しています。いつも皆さんに食べて頂けるようにと心  
を配っていますが、やはり残る献立はあり、「なぜ」残り物がでるのかを検討してこなかったという反省  
があります。

味にやさしいもきつい(きすい)もないと思われるかもしれませんが、最近「やさしい味」がいたしませ  
んか？塩辛いや濃いと感じますが、「やさしい」味もあるんですね。厨房の調理員達は20歳代  
の若い女性が多いですが手作りのやさしい調理をすることができるようになり、郷土料理やもっと若者  
向け風な料理にも挑戦しようと話しています。楽しみにされて下さいね。 施設長 末谷 千秋

## 2月のお誕生日 & 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1	2 昭和レトロコンサ (ケアハウス)	3 節分	4 立春	5
6	7	8	9	10 1:30~ 第3回目コロナ ワクチン	11 建国記念 の日	12
13	14	15	16	17	18	19 雨水
20	21 13:30~ ビューティーヘルパー 理・美容	22	23 天皇誕生日 昭和レトロコン サート(シニアハウス)	24 1:30~ 第3回目コロナ ワクチン	25	26
27	28	1	2	3	4	5

\*誕生日:お名前記載の方の誕生日です。ささやかなカードとお菓子をプレゼントさせて頂いております。  
\*\*\*ビューティーヘルパー:出張の理美容です。食堂白板に申込みを貼っています。ご記名ください。  
\*\*\*\*イズミ行き:午後1時出発、2時半頃帰着。長府ゆめタウンへの買い物バスです。(月に5回)⇒しばらくお休み。  
\*\*\*\*\*レトロコンサート:午後1時半~3時 昔懐かしいレコードやビデオを観たり、歌ったりお茶もあります。  
☆第1水曜日はケアハウス食堂・第4水曜日は隣のグループホーム。同じ内容です。参加費300円  
\*\*\*\*ななの会(習字)はお休みさせていただきます。

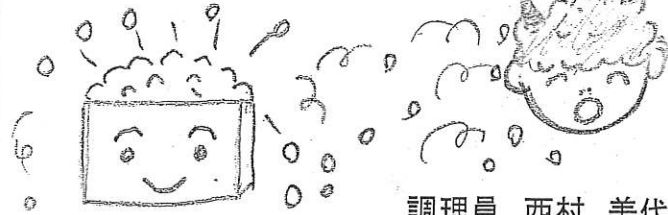
## ケアハウス王喜の郷

### 働く喜び

早いもので四年目に入りました。69歳で紹介で入れてもらい毎日娘や孫のような皆と仕事をして若さを感じています。

私が入って1年、2年と月日がたち以前にいた人達は総入れ替わりになりました。ベトナムからの3人と私達小人数ずつで毎日忙しく働いています。

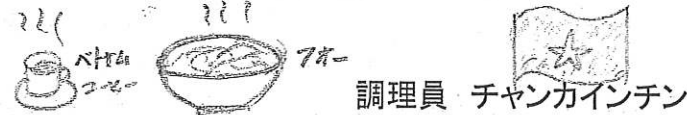
メニューに沿って2~3日先の分まで揃えるのは大変です。高齢者や配食を頼まれている方々が食事や弁当を心待ちにされ、食べられる姿を目の当たりにすると大変うれしく、働き甲斐を感じます。



調理員 西村 美代子

## ケアハウス王喜の郷(厨房)

ベトナムの首都は数千年の歴史を持つハノイです。ベトナムの伝統的な美しさを保存するところがハノイにはあります。それは旧市街です。ハノイ旧市街は別名「36通り」と呼ばれています。その由来は、王様がいた時代に36本の通りごとに別々の商人や職人を集め住ませたことだと言われています。36通りにはベトナムの伝統衣装であるアオザイやお土産に人気のカゴバックなど色鮮やかで可愛い商品を販売するお店が並んでいます。ハノイ旧市街の同じ通りには同業店が集まり、通りごとに異なったカラーがあるという事です。いつも賑やかなので外国人観光客が多い所です。ベトナムに旅行する機会があればぜひハノイ旧市街を訪れて下さい。



調理員 チャンカインチン

## 王喜の郷デイサービスセンター

1月24日に今年度第2回目の王喜小学校4年生徒との交流会を行いました。第1回目よりも多くの方々にご参加いただきました。しかし、テレビ電話が繋がらず急遽1週間前に届いていたDVDで、4年生が地元の方々が作らせた竹楽器のアンクルンを真剣に演奏している姿や生徒ひとり一人の自己紹介を鑑賞して頂きました。DVDを観られて、利用者の皆さんが拍手喝采でとても盛り上がったことをお伝えしました。生徒の皆さんは、その言に励まされ、3回目の交流会に向けて頑張りたいと次の目標に向かっていくそうです。皆さんの温かい声援ありがとうございます。次回も多くの方々のご参加をお待ちしております。

また、2月3日は節分の日です。鬼が出現します！お楽しみに。



介護職員 宮村 秀子

## グループホーム王喜の郷

寒の時期を過ぎましたが、まだまだ寒い日が続きますがグループホームでは、天気の良い日は外気浴をしています。「風が冷たいね！」や「ポカポカして気持ちがいいね！」などと言われ、その日の天候により時間を長くしたり、短くしたりして行っています。室内に戻られたら、温かいお茶を飲まれ「あー！温まるね 美味しい」と言われています。天候が悪く外気浴が出来ない日は、体操や室内を歩行して体を動かしていただいています。

その他にも塗り絵をしています。先日も壁紙用の鬼やお多福・梅やウグイスをどの色にしようか考えながら皆さんとても上手に塗られていました。今月は色とりどりの節分の壁紙が出来上がりました。

なかなか外出も出来ない状態が続いています。室内で少しでも季節を感じて頂けるような事を行いたいと思います。

グループホーム 橋口 志都

## 王喜の郷居宅介護支援センター

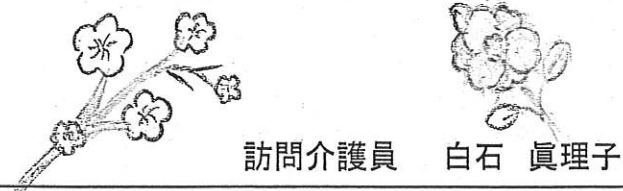
冬でも脱水がある事例を紹介します。ご家族から様子がおかしいので行って見て欲しいと言われ、居室へ訪問しました。本人に面接すると、身体が傾き、受け答えが出来ませんでした。急いで看護師に連絡を取り容態を見てもらうと、熱が39℃近くあり、お茶500mlをゆっくり飲を飲んで頂きました。すると、話ができるようになりました。居室はエアコンで暖かく、利用者さんはダウンベストとダウンジャケットを着ておられました。又その日は病院受診をされておられ、車の中で水分は摂っておられなく、昼食は遅くなったので居室でおにぎりを食べたとのこと。脱水と言うと夏をイメージしますが、冬も脱水症状があります。水分摂取や体温調整をしていただけるよう声かけをしていきたいと思ひます。

介護支援専門員 石川 ゆかり

## 王喜の郷ホームヘルプステーションいるか

人権やコミュニケーションについて学び、サービスを提供する上で大事にすることは、利用者の方の人権と尊厳を守り、自由で質の高い幸福に満ちた生活を送れるように支援させていただくことだと考えます。しかし、なんでもできないことを手伝っていいというわけではありません。利用者の方ができることまた、できないことで支援が必要なことは何か。どのような生活を望まれているのかをコミュニケーションを図り、しっかり知っていくことが必要です。

利用者の方、一人ひとりに合ったサービスが提供できるように、望まれている生活のために何をすべきかということを中心に考え支援していきたいと思ひます。

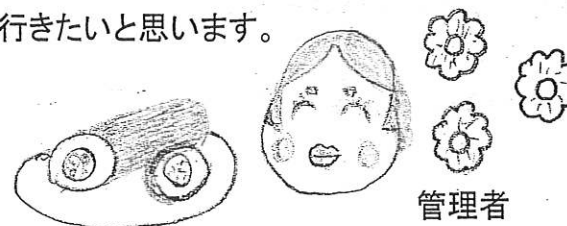


訪問介護員 白石 真理子

## 王喜の郷ミントの家 シニアハウス王喜の郷

王喜の郷では職員を対象に内部研修を行なっています。その中の「コミュニケーション研修」では毎月、講師により開催し、各職員が参加しています。普段からコミュニケーションが取れていることにより、入居者や利用者の方々との良好な関係が持て、トラブルやアクシデント防止にもつながります。

ゆっくり、はっきり話す。目線を合わせ、きちんと聞く姿勢を持つ事を心がけるよう、どの職員も学んでいます。言葉足らずや解釈違いによってトラブルとならない様、また、発言や気持ちを汲み取り、必要な介護サービスを提供できる様、コミュニケーション能力・知識を習得して行きたいと思ひます。

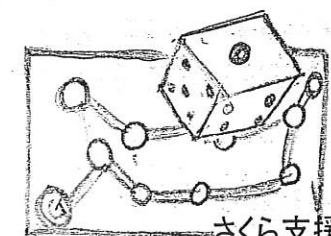


管理者 堺 悦子

## 放課後等デイサービス さくら

子ども達と一緒にすごろくをしました。サイコロを振り、「くしゃみを3回する」「いただきます(ごちそうさま)、の挨拶をする」「みんなで3回ジャンプする」等、出たマスのお題をすぐに表現できる子、恥ずかしがって出来ない子と様々でしたが、皆ゴールまでたどり着き笑顔で遊ぶことが出来ました。

暖かい日は中庭に出てボール遊びや追いかけっこ、だるまさんが転んだ等、身体を動かす活動を行っています。子ども達一人一人の体調の変化に気を配り、元気に過ごしてもらえるように支援していきたいと思ひます。



さくら支援員 松下 美由紀